

<ポイント> 四分位数と四分位範囲(2)

○四分位範囲とは、データの数値の第3四分位数と第1四分位数の差のこと。

四分位範囲=第3四分位数-第1四分位数

○四分位範囲はデータの散らばっている度合いを表す指標の1つである。

データの数値が中央値に集まっている → 四分位範囲はせまくなる傾向にある

データの数値が中央値よりはなれている → 四分位範囲は広くなる傾向にある

<例>以下の数値について、第1四分位数、第2四分位数、第3四分位数、四分位範囲をそれぞれ求めよ。

1 1 3 3 4 6 8 8 9

第2四分位数は、数値が9個(奇数個)なので真ん中の数値になる。 → 4

第1四分位数は、数値が4個(偶数個)なので真ん中2個の平均になる → $(1+3) \div 2 = 2$

第3四分位数は、数値が4個(偶数個)なので真ん中2個の平均になる → $(8+8) \div 2 = 8$

四分位範囲は $8 - 2 = 6$

【1】以下の数値は、9回の数学のテストの結果です。これについて、第1四分位数、第2四分位数、第3四分位数、四分位範囲を求めなさい。

49 52 58 64 67 70 76 78 92

(第1四分位数: 第2四分位数:)

(第3四分位数: 四分位範囲:)